

＝プレスリリース＝

平成25年2月22日

岩手県内企業景況調査結果
—平成25年1月調査—

標記について、概要を取りまとめましたので公表いたします。
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」25年3月号に掲載予定しております。

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号
岩手銀行中ノ橋支店3階

財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕

(担当 地域経済調査部 小田真一)
TEL 019-622-1212

〈 調査結果の要約 〉

－ 業況の回復の動きが弱まる－

1. 最近の業況感

県内企業の最近の業況はBSIがマイナス16.9となり、前回調査（24年10月、以下同じ）を2.4ポイント下回った。前回4期ぶりにマイナスに転じたが今回も僅かながら悪化しており、復興需要等を背景にした回復の動きが弱まっているとみられる（図表1）。

円安傾向となり輸出の環境が改善されてきた一方で、欧州など世界経済の減速が続いていることや、原油等資源価格が上昇していることから、生産の回復がまだ本格化していないことが要因としてあげられる。また、公共工事を中心に復興に関する需要は旺盛になってきているものの、震災直後の特需が弱まり、個人消費の持ち直し傾向が鈍化していることなども影響しているとみられる。

2. 先行きの業況感

今後3カ月間の先行きは、マイナス24.9と現状を8.0ポイント下回り、マイナス幅が拡大する見通しである。海外経済の減速感が続いていることや、個人消費も弱い動きとなっており、景気の先行きに慎重な見方が増加している。

3. 県内企業の新規採用動向

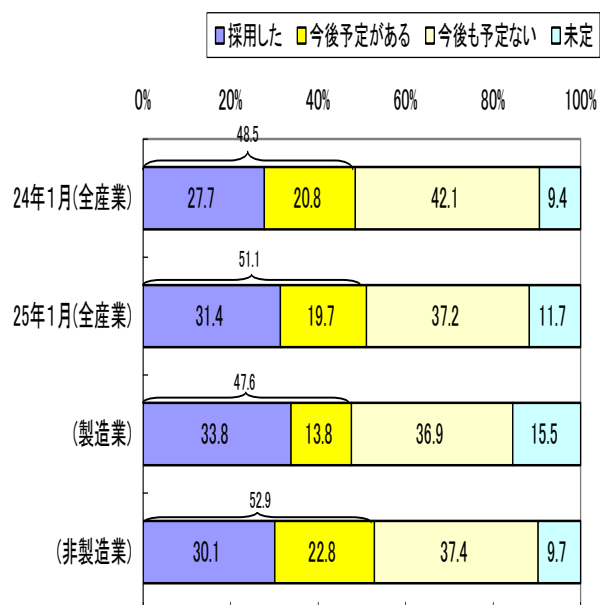
平成25年度の新規採用状況（中途採用含む）は、「採用者を決定した」または「今後採用予定がある」とした企業が51.1%と最も多く、「採用予定がない」の37.2%を上回ったほか、「未定」が11.7%となった（図表2）。昨年1月の同調査と比較すると、県内企業の求人は、震災の復興事業に関わる求人増もあり産業全体としては増加傾向となっている。

図表1 業況判断BSI

（「良い」-「悪い」・%ポイント）

業種	期	最近		先行き
		平成24年10月調査	平成25年1月調査	今後3カ月間
全産業		△ 14.5	△ 16.9	△ 24.9
製造業		△ 33.4	△ 26.2	△ 30.8
食料品		△ 50.0	△ 56.2	△ 62.5
木材・木製品		12.5	14.3	△ 14.3
窯業・土石		20.0	33.3	0.0
金属製品		△ 71.4	△ 44.5	△ 44.4
一般機械		△ 60.0	△ 16.6	△ 16.6
電気機械		△ 33.3	△ 30.0	△ 10.0
その他		△ 35.7	△ 27.3	△ 27.3
非製造業		△ 6.2	△ 12.1	△ 21.8
建設業		27.3	12.0	0.0
卸売業		△ 20.5	△ 23.6	△ 20.6
小売業		△ 9.1	△ 15.1	△ 36.4
運輸業		△ 22.2	△ 42.8	△ 42.8
サービス業		△ 3.8	△ 8.0	△ 20.0

図表2 新規採用状況（中途採用を含む）



(参考)

< 調査要領 >

1. 調査内容

平成25年1月調査時点での業況感と先行き（3カ月間）の見通し、ならびに24年10～12月期の前年同期と比較した売上高等の実績および25年1～3月期の前年同期と比較した岩手県内企業経営者の見通し等。

2. 調査時期

平成25年1月中旬

3. 調査対象企業

岩手県内企業 350社

4. 回答企業

製造業	68社
建設業	25社
卸売業	35社
小売業	33社
運輸業	7社
サービス業	25社
合計 (回収率)	193社 (55.1%)

(注) BSI (Business Survey Index : 景況判断指数)は、企業の業況実績や企業経営者の業況見通し等を指標化したもので、「プラス (増加、上昇、過剰等) 」と回答した企業割合から、「マイナス (減少、下降、不足等) 」と回答した企業割合を差し引いた値である。